

「きっと、うまくいく」

電気・電子情報工学系 引間和浩

皆さん、こんにちは。8月中旬の猛暑もだいぶ和らいで、涼しくなりましたね。さて、この学生生活だよりの執筆依頼をもらった後、どんな読者を思い浮かべて書けばいいか悩みましたが、これを読んでいる皆さんは意欲的な方々だと思うので、何かの足しになる話を書いてみようと思います。

コロナの影響で今までと同じような生活は出来ていないと思いますが、どんな風を感じて過ごしていますか？誰にも会わなくていいので気楽？友達に会えないので寂しい？人同士の距離が離れましたが、それに対する感じ方は人それぞれだと思います。今回は皆さんにとってプラスに働く面に注目したいと思います。まず大きな変化は、自由な時間(自分自身で使い道を考えて選択できる時間)が増えた点です。具体的には、強制的にこの時間は講義を受けなければならない、ということがなくなりましたね。自分で24時間をコントロールできます。これは凄いことです。コロナ前では考えられなかったことです。ただ、このメリットを活かすかどうかは皆さん一人一人にかかっています。永遠とYouTubeを観てしまったり、ゲームをしたりすることもできるからです。どんなことをしたらいいのでしょうか？正解はありませんが、いくつか例を挙げてみます。

一つ目。オンラインのイベント(参加型のワークショップやイベントなど)に、勇気を出して参加してみましよう。人は経験したことからしか語れません。学生のうちに色々な経験(冒険)をしてみてください。アウトプットの機会を増やして、経験値を上げる。研究室に配属されている学生はタイミングを見つけて、先生、スタッフ、先輩に相談してみるのもいいでしょう。

二つ目。読書。知識も大事です。家にいる時間が長くなった分、読書できる時間も増えていると思います。心も落ち着きますし、おすすめです。テレビを消して読書しましょう！給付金で電子書籍リーダーを買ってもいいですね。私はそこ

まで出来ていませんが、毎月1万は必ず本へ投資するという先輩がいました。

三つ目。自分は将来何をしたいのか、何をしている時に夢中になれてハッピーなのか考えてみる。自己内省の時間を取る。これが三つ目。ノートに書き出すのをおすすめします。何から始めたらいいの？という人もいると思うので、第一歩を踏み出しやすいように最後のページに Tips を用意しておきます。

最後に軽い話題を一つ。技科大の皆さんが共感しやすい映画を一つ紹介して終わりたいと思います。結構有名な映画なので既知っている方も多いかもかもしれませんが、「きっと、うまくいく」という映画です。この映画は、インドの超難関理工系大学を舞台にしたヒューマンストーリーで、熾烈な競争社会にさらされている学生が様々な出来事を経験し、人生で大切な物は一体何なのか考えていく、そんな作品です。ユーモアも散りばめられていて笑いもあり、重々しい気分になる作品ではありません。学生生活が充実したものになるヒントが得られるかもしれません！

ということで、私は週末の夜、好きなお酒を片手に映画を観て一人静かに過ごすのが楽しみの一つなのですが、皆さんもメリハリをつけて、やる時はやる、気を抜く時はリラックスする、という風に過ごしてみてください。気分が沈む時もあると思いますが、「きっと、うまくいく」という風にポジティブに捉えて、有意義に過ごしましょう。なお、自分のことは棚に上げてこの原稿を書いています。私自身も毎日反省して改善しての繰り返しです。共に学んでいきましょう。

**Small tips** (アウトプットとインプットの一例)

- ・アントレ講座：<https://www.openschooljapan.org/>  
→元々東大工学研究科の講義で、今はオンラインで全国の学生が参加可です。
- ・マコなり社長：[https://www.youtube.com/channel/UC7I3QTra4\\_kC4TSu8f7rHkA](https://www.youtube.com/channel/UC7I3QTra4_kC4TSu8f7rHkA)  
→面白く語ってくれます。同世代で活躍している人に刺激をもらえます。
- ・サラタメさん：<https://www.youtube.com/channel/UCaG7jufgiw4p5mphPPVbqhw>  
→いきなり本を読むと言っても何を読めばいいか分からない人におすすめ。
- ・荒木博行の book cafe：<https://voicy.jp/channel/794>  
→毎日本を一冊紹介してくれます。私は通勤時に聴いています。